



## ◆Topic◆ どんな人材になりたい=どの大学に入りたい ~ アドミッションポリシー ~

AO (アドミッションオフィス) 入試って何でしょう。そもそも大学にはそれぞれに「こんな学生に入学してほしい」という思いがあります。これを文章で表したものを**アドミッションポリシー**と言います。その大学の思いにぴったり当てはまる学生を探すのは通常のペーパーテストだけでは困難です。そこで大学の入試事務局 (アドミッションオフィス) が中心となり入試方法を独自に考えて実施するのが **AO 入試** とよばれるものなのです。試験の内容は様々ですが、面接や小論文以外に、大学の講義を受けてレポートを書くとかプレゼンをおこなうなど、大学によって様々です。試験方法だけ見ると推薦入試とよく似ていますが、高校の推薦は必要ありません。あくまでも**売り込みたい自分**と学生が欲しい**大学側の思い**が一致するかどうか重要です。推薦入試がお見合い結婚であるとしたら AO 入試は相思相愛の恋愛結婚のようなものと言えるでしょう。特に3年生のみなさんは大学がどんな人物を求めているか、アドミッションポリシーをしっかりと理解しておくことは大切なことです。(募集要項などに必ず記載されています。「受かればいい、入ればどこも同じ」と考えるのではなく入学後のミスマッチを防ぐためにもしっかりと読んでおくべきです。)

ところでみなさんは「売り込みたい自分」を持っているでしょうか？または大学がほしい人物像に当てはまっているのでしょうか？大学のアドミッションポリシーを理解するには次の4つの観点を基にそれを読んでみると良いでしょう。

- 1 「ローカル人材」地域が必要とされ、地域の将来を考えて地域に貢献し、地域で活躍する人材
- 2 「ナショナル人材」日本全土を飛び回り、日本の将来や国益を考えて国内で活躍する人材
- 3 「グローバル人材」海外を飛び回り、日本と世界の関係を考慮しつつ世界を相手に活躍する人材
- 4 「プロフェッショナル人材」ある分野で秀でた技術・能力を発揮することで社会に貢献できる人材

多くの大学のアドミッションポリシーには上記4つの観定のどれかが盛り込まれているはずですが、将来みなさんは**どの人材になりたいですか？**このうちの1つを選ぶことは難しいかもしれません。しかし今の段階で1~4のうち「○番のような人になりたい」ということが言えないと大学が求める人材に一致しないこととなります。将来どんな人材になりたいかを考えることは、どの大学に入りたいかを考えることであり、それはそのままどんな生き方をしたいかということにつながります。さてこれを読んだあなた、将来どんな人材になろうとしているのでしょうか？ぜひ考えてみるべきです。  
(文責：岡崎)

## 『3年の窓』 少しずつ前進を・・・

まだまだ暑いですが、暦のうえでは秋 (今年は8月7日が立秋) です。夏休み中は、夏期補習を受けたり、図書館などに行ったりして猛勉強は出来たでしょうか。単純に考えてしまうと今年も4ヶ月余り、センター試験まで6ヶ月ないですね。来月にはセンター出願説明会、推薦AO説明会など非常に大切なことが目の前に迫っています。自分の進路にあわせてしっかりと計画が見通せているでしょうか。

この時期は、自分がどんな進路を選択して将来どのような職業に就こうという具体的なことを決めながら不安だけが増えて、あれこれ考えているうちに勉強ができないまま時間だけが過ぎていく人がいるかもしれません。しかし、物理的な勉強時間は限られていきます。そんな時には、もう一度基本に戻り基礎を見つめなおすと、ほっと力が抜けて、案外不安が解消されるかもしれません。少しずつでもいいから、前進するように努力しましょう。  
(文責 糸魚川)

## ♪2年の窓♪ 効果のある学習方法とは？

さていよいよ夏休みが明けて学校が始まります。勉強・部活・桔梗祭の準備など充実した夏休みを過ごすことができましたか？自由な時間に自分で計画を立てて学習し、その成果を課題テストで発揮できたでしょうか。

さて、テストが終わったところですが9月26日～29日に前期期末考査が待ち構えています。もちろんこの夏休みにどれだけ努力して学力を付けられたかも大事ですが、これから9月の過ごし方がとても重要です。

1つはテストの復習を充実させよう。進研模試と課題テストが終わり、結果が返ってきます。答え合わせをしっかりと行い、出来なかったところを復習しましょう。

2. 各教科から出される課題を最大限活用し、最大の効果を発揮させよう。こなすのではなく自分の頭で考え、分からなければ友人や先生に相談しよう！

3. 生活リズムを整えよう

学習効率を上げるには、良い睡眠・食事を摂るに限ります。夏休み以降の自身の生活習慣を見直そう。

(文責：渡辺)

## ♪1年の窓♪ 模試結果を活かそう！

7月の進研記述模試の結果が返ってきます。是非今後には活かしましょう。【活用については9/10にも行います】

**1 学力を全国と比較する**（受験者数はセンター試験現役志願者数とほぼ同じ）得点や偏差値、順位、GTZ（学習到達ゾーン）などから全国レベルでの学力を確認しよう。また、偏差値やGTZについても理解し、早めに具体的な進路目標を設定しよう。（配布される「合格ライン」等の冊子参照）

**2 高校学習の学力のスタート地点を確認する**

「教科バランス」では、国数英の学力を視覚的に確認し、全国偏差値50（平均点）と比較しよう。1年生では国数英それぞれを苦手な教科にしないよう大きな正三角形を目指しましょう。

**3 弱点を補強する**

各教科の苦手な分野を「設問別成績」で確認し、全国平均得点率に届いていない分野を早急に補強しよう。返却された答案と解答解説を活用し、必ず振り返りをしよう。模試用やり直しノートを作るといいですね。(文責:西崎)